

カリキュラム

B.生涯キャリア形成

役割の変化への対応

中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成

コースのねらい

中堅・ベテラン従業員が職務の棚卸を通じて今後の求められる役割を再認識した上で、役割の変化に対して円滑に対応できるよう知識と技能を習得する。

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 職務の棚卸し	(1) キャリアとは キャリアとは組織と個人のかかわりの中で自己の存在意義を確立する過程のことであり、自己選択・自己決定・自己責任を原則とすることを学習します。その上で自分が何をしたいのか、仕事を通じて何をしようとしているのかを明らかにし、自分自身のキャリア開発のイメージを掴みます。 (2) 自分の持ち前を発見する キャリアの発達過程と照らし合わせてこれまでのキャリアを振り返り、自分の経験や仕事の内容、関係した人を整理し、獲得したノウハウや人脈、仕事を進めていく上での自分自身の能力の強み・弱みを分析し、自己理解を深めます。	2.0
	2 求められる役割	(1) これから求められる人材とは 価値観が多様化する職場の変化を把握し、若手社員からの「一緒に働きたいベテラン社員、一緒に働きたくないベテラン社員」の意見等を参考にしながらこれから期待される役割、必要となるスキルを洗い出します。	1.0
	3 後輩従業員に対する相談・援助・指導スキル	(1) 後輩従業員の職場指導 場当たりの指導ではなく、計画的なOJTの必要性や実践方法を学び、後輩従業員に対する仕事の教え方を習得します。 (2) ビジネスコーチングの概要 ティーチング、コーチングなど後輩従業員への関わり方の違いを確認したうえで後輩従業員の主体性を引き出すコーチングスキル（状況説明のスキル・発問のスキル・傾聴のスキル）を体得します。	2.0
	4 役割の変化に応じた他者との関係構築スキル	(1) より良い関係性を築く より良い関係性づくりのためのコミュニケーションスキルの重要性を理解します。立場や考え方の違う人と上手にコミュニケーションをとるために感情をコントロールし、相手を傷つけないように自分も相手も大切にしながら自己主張・自己表現する関係性構築のスキルを習得します。	1.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント

忙しい中でなかなか振り返る機会のない自分自身の職業経験をゆっくり振り返り、蓄積してきた経験を改めて棚卸し、自分にはこんなことが出来るという強みを把握します。また自己主体のキャリア形成の観点から自分がやりたいことや組織から期待されていることを整理し、経験値を継承していく上でのコミュニケーションスキルを習得します。

講師から一言

自分自身の職業経験をゆっくり振り返り、蓄積してきた経験を改めて棚卸し、自分にはこんなことが出来るという強みを把握します。

また自己主体のキャリア形成の観点から組織からの期待を整理し、経験値を継承していく上でのコミュニケーションスキルを習得します。